

2021年 入試改革

# 私立大 共通テスト英語 リーディング・リスニング配点比率

「R:L」は「1:1」が約半数で最多！

学部・学科別や入試期別・方式別で比率が異なる大学が少ない！

旺文社 教育情報センター 2020年10月12日

2021年一般選抜で、私立大が共通テスト英語「リーディング・リスニング」を利用する場合の配点比率を集約した(2020年一般入試で志願者数が上位100位+各エリアの大規模校=105校を掲載)。

## ■共通テスト英語 問題作成方針、出題方法のポイント。

リスニング音声は第1問と第2問が2回読み、第3問～第6問が1回読み！

- ◎リーディングとリスニングの配点は均等(各100点)。
- ◎各技能の点数の入試での比重(重み付け)は、各大学が決定。
- ◎外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションで、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるかを「読む」「聞く」で評価。
- ◎実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面、状況の設定を重視。
- ◎発音、アクセント、語句整序などの単独問題は出題しない。問題レベルは、CEFR A1～B1。
- ◎英語表記はアメリカ英語に加えて、場面設定によりイギリス英語を使用することもある。
- ◎リーディング・リスニングともに、概要や要点を把握する力、情報を読み取る力等を問う。
- ◎リスニングの内容は、生徒の身近な暮らしや社会での暮らしに関わること。
- ◎リスニングの音声は、多様な話者による現代の標準的な英語を使用(試行調査ではアメリカ英語、イギリス英語、日本語母語話者による英語が出題)。
- ◎リスニングの音声読み上げは第1問と第2問が2回読み、第3問～第6問が1回読み(2018年の共テ第2回試行調査では第1問～第3問が2回読み、第4問～第6問が1回読みだった。全て1回読みにする可能性も今後検証)。

※リスニングの設問数(解答する数)はセンター試験25問、共テ第2回試行調査では37問(うち配点された数は30)と増加。  
※音声読み上げは、共テ第2回試行調査では難易度の高いCEFR B1程度の問題が1回読み。

## ■センター試験と共通テストの[英語]の対照 (赤字・下線が変更箇所)

センター試験 英語	試験時間	配点
筆記	80分	200点
リスニング	60分(注)	50点
リスニング音声	全て2回読み	

(注)うち解答時間は30分

共通テスト 英語	試験時間	配点
リーディング	80分	100点
リスニング	60分(注)	100点
リスニング音声	1回読みと2回読み	

(注)うち解答時間は30分

※ここまで、共通テスト英語に関する問題作成方針、出題方法などについては、「令和3年度 大学入学共通テスト問題作成方針」「令和3年度 大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等」(2020/1/29)ならびに、「大学入学共通テストの導入に向けた試行調査の結果報告」(2019/4/4)、「令和3年度 大学入学共通テスト 受験案内」など大学入試センター発表資料を基とした。

■リーディング、リスニングの配点比率は「1:1」が約半数で最多！

学部・学科別や入試期別・方式別で比率が異なる大学が、2割強！

センター試験の英語の配点は筆記200点、リスニング50点。「筆記：リスニング」の配点比率は「4：1」。実際の入試では、筆記とリスニングの両方を利用する場合は、ほとんどの大学で、筆記+リスニング250点を200点に換算し、具体的には筆記160点、リスニング40点として利用していた（さらにこれを100点満点に換算しても、比率は変わらず「4:1」）。

一方、共通テストの英語の配点は、リーディング（R）100点、リスニング（L）100点。「R：L」の配点比率は「1：1」。入試での各技能への重み付けは、これまで通り各大学が判断するが、素点での比率が「1：1」となったことはセンター試験からの大きな変更点だ。

弊社では、主な私立大学105校の一般選抜（共通テスト利用や共通テスト併用）で、英語「リーディング」「リスニング」の両方を利用する場合の「R:L」の配点比率を調査。次ページ以降がその一覧であり、配点比率の割合を集計したのが下の表だ。

配点比率は「1：1」が約半数で最多。「4：1」「3：1」が続き、これら3つの比率で全体の86.5%を占める。これまで「4：1」が大多数を占めていたため、多くの大学でリスニングの比率はアップすることとなる。

学部・学科別や入試期別・方式別で配点比率を変えている大学は、集計した105校のうち23校で割合は21.9%。たとえば、中央大の法と商が、共テ併用方式と共テ単独方式で比率を変えている。同様のケースは他にもあるため、一覧表を参照してほしい。ちなみに、国公立大一般選抜で、学部・学科などの別で配点比率を変えている大学の割合は約18%だった。

コロナ禍のもと、2021年入試に際して各大学とも入試の要項の変更が、大学のホームページで見受けられる。本稿で示した共通テスト英語関連に限らず、入試情報については、募集要項や大学ホームページの更新情報に注意したい。（2020.10 加納）

参考: 国公立大 共通テスト英語リーディング・リスニング配点比率 [9月更新版] (2020年9月4日配信)

■2021年 私立大一般選抜 共通テスト英語リーディング・リスニングの配点比率(R:L)の割合  
(旺文社 教育情報センター調べ/2020年10月9日現在/私立大105校集計)

R:L	該当数	割合
1:1	66	46.8%
4:1	37	26.2%
3:1	19	13.5%
2:1	9	6.4%
3:2	5	3.5%
7:3	4	2.8%
5:2	1	0.7%

※「該当数」は、次ページからの一覧表に記載した「R:L配点比率」を、大学別・配点比率別で集計した数値。大学全体で「4:1」の場合は1とカウント。同一大学で学部等の別で配点比率が異なる場合は、配点比率別に集計。たとえば「4:1」が2学部と「1:1」が1学部の大学の場合、各々1とカウント。  
※「共テ利用しない」「RとLのうち高得点を採用」「R:L=0:1」は、集計から除外した。

次ページより、各大学の共通テスト英語「R:L」配点比率一覧を掲載。

各大学の掲載情報は今後変更される可能性がある。

大学発行の募集要項やホームページの更新情報を必ず確認してほしい。

■2021年 私立大一般選抜 共通テスト英語リーディング・リスニングの配点比率(R:L)

(旺文社 教育情報センター調べ/2020年10月9日現在)

大学	学部(学科)等	入試方式	共通英語 R:L
北海学園大学	経済1部	共テⅠ期	2:1
	経済1部	共テⅡ期	3:2
	経営1部		1:1
	法1部		7:3
	人文1部(日本文化)		4:1
	人文1部(英米文化)		7:3
	工(社会環境工、生命工)		4:1
	工(建築、電子情報工)		1:1
	人文2部(日本文化)		4:1
	人文2部(英米文化)		7:3
	経営2部		1:1
	法2部		7:3
	北海道科学大学		
東北学院大学	文(英文、総合人文、歴史)		2:1
	文(教育)／経済／経営／法		1:1
	工／教養(人間科学、情報科学、地域構想)		3:1
	教養(言語文化)		4:1
東北福祉大学			1:1
国際医療福祉大学	医		1:1
獨協大学			4:1
文教大学	文(英米語英米文、外国語)		1:1
千葉工業大学			1:1
千葉商科大学			1:1
青山学院大学			1:1
亜細亜大学	経営／経済／法／都市創造		3:1
	国際関係		7:3
桜美林大学			4:1
学習院大学	法／文(哲学、史学、英語英米文化、ドイツ語圏文化、フランス語圏文化、教育)／理(化学)／国際社会科学		1:1
	経済(経済)		4:1
杏林大学	総合政策／保健／医／		1:1
	外国語		2:1
慶應義塾大学			共通利用しない
工学院大学			3:1
國學院大学			1:1
国土館大学			1:1
駒澤大学	仏教／文／経済／医療健康科学／グローバル・メディア・スタディーズ		4:1
	法		3:1
	経営		2:1
産業能率大学			1:1
芝浦工業大学			1:1
順天堂大学			4:1
上智大学			1:1
昭和女子大学	人間文化(歴史文化)／人間社会／食健康科学／グローバルビジネス／国際／環境デザイン		4:1
成蹊大学			1:1
成城大学	社会イノベーション／文芸(英文)		2:1
	文芸(芸術)／法		4:1

■2021年 私立大一般選抜 共通テスト英語リーディング・リスニングの配点比率(R:L)

(旺文社 教育情報センター調べ/2020年10月9日現在)

大学	学部(学科)等	入試方式	共テ英語 R:L
専修大学	経済/法/経営/商/ネットワーク情報		3:1
	文(日本文学文化、哲学、歴史、環境地理、ジャーナリズム)		4:1
	文(英語英米文)	共テ前期、後期	1:1
	人間科学		4:1
	国際コミュニケーション(日本語)		4:1
	国際コミュニケーション(異文化コミュニケーション)		1:1
	文(英語英米文)	学部個別E方式	0:1
大正大学			4:1
大東文化大学	文(日本文、歴史文化)		3:1
	文(英米文)		3:2
	文(中国文、教育、書道)		1:1
	経済/法/国際関係/スポーツ・健康科学		1:1
	外国語(中国語)		3:1
	外国語(英語、日本語)		1:1
社会		7:3	
拓殖大学			1:1
玉川大学	教育/文/芸術/リベラルアーツ/経営/観光		1:1
中央大学	法/商	共テ併用	1:1
	法/商	共テ単独	4:1
	経済/理工/文/総合政策/国際経営		4:1
	国際情報		3:2
帝京大学			4:1
東海大学			4:1
東京経済大学			3:1
東京工科大学			1:1
東京女子大学			1:1
東京電機大学			3:1
東京都市大学			7:3
東京農業大学			1:1
東京理科大学			3:1
東邦大学	理		1:1
東洋大学			1:1
日本大学	法1部/法2部/経済/商/国際関係/工/薬		1:1
	文理/理工/生産工		4:1
日本女子大学	家政/文(日本文、史学)/人間社会(現代社会、社会福祉、教育、心理)/理		1:1
	文(英文)	共テ前期	2:1
	文(英文)	共テ後期	5:2
人間社会(文化)		4:1	
文京学院大学			1:1
法政大学	法/文/社会/経営/人間環境/現代福祉/キャリアデザイン/情報科学/生命科学	共テB方式、C方式	4:1
	経済/国際文化/スポーツ健康/デザイン工	共テB方式	1:1
	経済/デザイン工	共テC方式	4:1
	理工(機械工-航空操縦学を除く)	共テB方式	3:1
	理工(機械工-航空操縦学を除く)	共テC方式	4:1
	理工(機械工-航空操縦学)	一般	3:1

■2021年 私立大一般選抜 共通テスト英語リーディング・リスニングの配点比率(R:L)

(旺文社 教育情報センター調べ/2020年10月9日現在)

大学	学部(学科)等	入試方式	共通英語 R:L
武蔵大学			3:1
武蔵野大学			1:1
明治大学	法/政治経済/文/経営/国際日本/理工/ 総合数理		1:1
	商		3:2
	農(農、農芸化学、生命科学)		3:1
	農(食料環境政策)		1:1
	情報コミュニケーション		4:1
明治学院大学	文/経済/社会/法(消費情報環境法、政治)/ 国際(国際)/心理		4:1
	法(法律)		1:1
明星大学			1:1
目白大学	心理/人間/社会/メディア/経営/外国語(中国語、 韓国語、日本語・日本語教育)/保健医療/看護		4:1
	外国語(英米語)		3:1
立教大学			1:1
立正大学	仏教/文/経営/法/社会福祉		4:1
	経済(経済-経済学、金融)		4:1
	経済(経済-国際)		1:1
	心理		1:1
	地球環境科学(環境システム)		4:1
	地球環境科学(地理)		1:1
早稲田大学	政治経済/法/社会科学/人間科学/スポーツ科学		1:1
神奈川大学	全学部(外国語[英語英文-GEC]を除く)		1:1
神奈川工科大学			4:1
関東学院大学			1:1
北里大学	理/獣医		1:1
金沢工業大学			1:1
常葉大学	外国語		1:1
愛知大学	法/経済/経営/現代中国/文/地域政策	共テプラス	1:1
	法/経済/経営/現代中国/地域政策	共テ前期 (5教科型)	2:1
	国際コミュニケーション/文	共テ前期 (5教科型)	1:1
		共テ前期 (3教科型)	2:1
		共テ後期	1:1
愛知学院大学			1:1
愛知工業大学			4:1
愛知淑徳大学	文(国文、教育)/人間情報/心理/創造表現/ 健康医療科学/福祉貢献/交流文化/ビジネス		4:1
	文(総合英語)/グローバル・コミュニケーション		1:1
大同大学			4:1
中京大学			2:1
中部大学			4:1
名古屋外国語大学			1:1

■2021年 私立大一般選抜 共通テスト英語リーディング・リスニングの配点比率(R:L)

(旺文社 教育情報センター調べ/2020年10月9日現在)

大学	学部(学科)等	入試方式	共通英語 R:L
名古屋学院大学			1:1
南山大学			1:1
名城大学			1:1
京都産業大学			1:1
京都橘大学	全学部(日本語日本文—書道を除く)		1:1
同志社大学	全学部(商[フレックス複合]、グローバル・コミュニケーションを除く)		2:1
同志社女子大学	全学部(学芸[音楽]を除く)		4:1
佛教大学			4:1
立命館大学			4:1
龍谷大学		下記以外の共通テストを利用する入試	4:1
	国際(国際文化)	共テ併用リスニング方式	0:1
追手門学院大学			3:1
大阪経済大学	経済/経営1部/情報社会/人間科学		1:1
大阪経済法科大学			4:1
大阪工業大学			1:1
大阪産業大学			1:1
大阪商業大学			1:1
関西大学	法/経済/商/政策創造/人間健康/総合情報/社会安全/システム理工/環境都市工/化学生命工		3:1
	文/社会/外国語		1:1
近畿大学			4:1
摂南大学			1:1
阪南大学			4:1
桃山学院大学			4:1
大和大学			1:1
関西学院大学		下記以外の共通テストを利用する入試	1:1
	国際	関学英語併用型(英語重視型)	0:1
甲南大学			1:1
甲南女子大学			1:1
神戸学院大学			3:1
武庫川女子大学	全学部(音楽を除く)		4:1
岡山理科大学	理/工/総合情報/生物地球/教育/経営/獣医(獣医保健看護)		RとLのうち高得点を採用
	獣医(獣医)		3:1
広島修道大学	商/人文(人間関係、教育)/法/経済科学/人間環境/健康科学/国際コミュニティ		1:1
	人文(英語英文)		3:2
松山大学	経済/経営/人文(社会)/法		1:1
	人文(英語英米文)		3:1

## ■2021年 私立大一般選抜 共通テスト英語リーディング・リスニングの配点比率(R:L)

(旺文社 教育情報センター調べ/2020年10月9日現在)

大学	学部(学科)等	入試方式	共テ英語 R:L
九州産業大学			1:1
久留米大学	全学部(医[医]を除く)		3:1
西南学院大学	全学部(神を除く)		1:1
福岡大学			4:1
福岡工業大学			4:1

◎私立大 2020年一般入試で志願者数が上位100位+各エリアの大規模校=105校を掲載。

◎一覧表では私立大 2021年一般選抜(共通テスト利用や共通テスト併用など)で、共通テスト英語「リーディング(R)」「リスニング(L)」の両方を利用する場合の、各技能への重み付け(配点比率)を示した(一部大学で、リスニングのみ利用の情報は掲載。特例追試での比率は除外)。

◎原則、各大学発行の入試要項や入試ガイドの情報を基とした。

◎学部(学科)等の欄=空欄は「共通テスト英語(RとLの両方)を利用する」全学部・学科を表す。

◎入試方式の欄=空欄は「共通テスト英語(RとLの両方)を利用する」一般選抜(共通テスト利用や共通テスト併用など)全入試を表す。

◎入試期別や入試方式によって、「募集がない」「リスニングを利用しない」学部・学科があるケースでも、表示されている配点比率は、あくまで共通テスト英語「R」「L」の両方を利用する入試期別や入試方式の情報。

◎配点比率が示されていても、共通テスト英語が選択科目のため必ずしも必要ない場合や、「R+Lの得点」と「Rの点数のみを換算した得点」のどちらか高得点を利用する場合など、大学によって利用方法はさまざまのため、詳細は大学発行の募集要項を参照されたい。

◎コロナ禍のもとでの入試という状況でもあるため、各大学の掲載情報は今後、変更される可能性がある。大学発行の募集要項やホームページの更新情報を必ず確認してほしい。